

郵便物の計量・発送作業（料金表示ゴム）

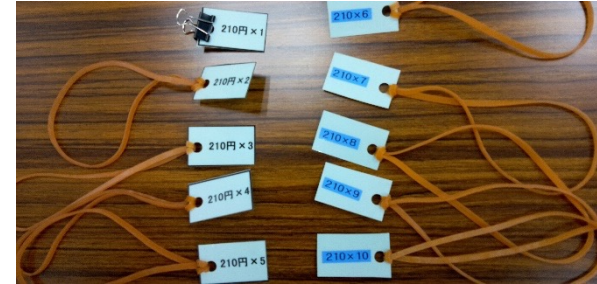
【東京都職員互助会 三楽病院】

【スタッフが主体的に業務を遂行できるための「工夫と提案」】

サンライトサポート室では、人間ドックのご案内、結果通知等の郵便を毎日、50～200通ほど計量し、近隣の郵便局へ持ち込み、発送をしています。

定型内・定形外・規格外・速達等を区別し、計量器で測り、84円・94円・140円・210円・250円等の料金表示ゴムで包みます。これによって、業務が手早く正確に行えるようになるとともに、台車の中での荷崩れがなくなり、郵便局員の計数と受領書入力も手早く正確にできるようになったと好評をいただいています。

料金表示ゴムという治具は、最初は支援者が作製しましたが、最近ではスタッフの工夫と提案で作製し、改善をしています。



値札のようにゴムの先に料金を付ける



スタッフの提案で色別の料金表示と両面表示にする（スタッフ自身が作製）



料金付き輪ゴムでこのように梱包し表示



料金表示ゴムはこのように整理